

作曲家・古関裕而さんと豊橋市出身の妻・金子さんを 主人公にしたNHK朝ドラ放映を目指して



古関裕而さん（左）と金子さん（右）

現在、豊橋市は福島市と連携してNHK朝の連続テレビ小説（朝ドラ）の誘致を進めています。東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020（平成32）年4月からのNHK朝ドラで、福島市出身の作曲家・古関裕而さんと妻・金子さんを主人公に夫妻の人生を描く物語の放映を目指します。

豊橋市と関わりのある偉大な作曲家・古関裕而さん

豊橋市歌の作曲者をご存知ですか？作曲者は福島市出身の古関裕而さん（明治42年〜平成元年）です。1964（昭和39）年の東京オリンピック開会式で鳴り響いた「オリンピック・マーチ」、甲子園で流れる「栄冠は君に輝く」など、生涯で約5千曲を作曲し、数多くの名曲を残した偉大な作曲家です。

また、妻・金子さんは豊橋市出身であり、古関裕而さんは豊橋市と深い関わりがあります。

豊橋市出身の妻・金子さん

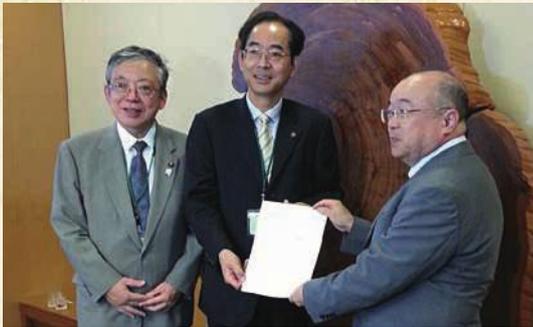
古関（旧姓・内山）金子さん（明治45年〜昭和55年）は、長兄と6人姉妹の三女として豊橋市で生まれ、豊橋高等女学校（現・豊橋東高等学校）を卒業しました。

昭和5年1月、金子さんは裕而さんが国際作曲コンクールで入賞したという新聞記事を読み、持ち前の行動力で裕而さんに手紙を書きました。それから文通を3か月ほど続けた後に福島市へ行き、昭和5年6月に結婚しました。この時、裕而さんは20歳、金子さんは18歳でした。

朝ドラ放映の実現に向けた取り組み

平成28年10月6日

佐原光一豊橋市長、小林香福島市長がNHK放送センター（東京都渋谷区）安齋尚志理事に要望書を提出。



要望書提出のようす

平成28年10月15日

「ええじゃないか豊橋まつり」で、NHK朝ドラ誘致活動について発表。

平成28年10月29日

福島市が「古関裕而音楽フェス」（福島市）で、署名活動を開始。



古関裕而音楽フェスでの「古関裕而・金子夫妻NHK朝の連続テレビ小説実現協議会」発足式のようす

平成29年2月28日

「古関裕而さん金子さんをテーマにしたNHK朝ドラ実現を願う会」を設立し、官民で署名活動を開始（予定）。

問い合わせ

古関裕而さん金子さんをテーマにしたNHK朝ドラ実現を願う会（シティプロモーション課内☎51・2179）
※署名活動などの詳細は、ええじゃないか豊橋ホームページ参照

2020年に「オリンピック・マーチ」を鳴り響かせ、朝ドラ放映を目指します

1964年の東京オリンピックは、戦後日本の復興を世界に発信する一大イベントでした。そして、開会式の選手入場は、実況の「心も浮き立つような古関裕而作曲のオリンピック・マーチが鳴り響きます」を第一声として始まりました。東京オリンピックに沸き立つ日本の姿、裕而さんによる「オリンピック・マーチ」の作曲と裕而さんの作

曲活動を支えた金子さんの姿が目に見えます。豊橋市は、福島市と一緒に、2020年にもう一度「オリンピック・マーチ」を鳴り響かせ、両市の、そして日本の素晴らしさを世界に発信するため、2020年4月からのNHK朝ドラで裕而さん・金子さん夫妻の人生を描く物語の放映を目指します。

署名活動などにご協力ください

■朝ドラ実現に向けた署名活動

朝ドラの実現には、地域の盛り上がりが必要不可欠です。豊橋市・福島市は今後さまざまな場所、イベントで連携して署名活動を行います。署名用紙は市役所じょうほうひろば（東館1階）、ホームページなどで配布しています。

■夫妻のエピソード募集

夫妻の物語を色鮮やかに甞よみがえらせるため、情報を募集しています。詳細はホームページをご覧ください。

〈古関裕而さんの代表曲〉

- ・1964年東京オリンピック行進曲「オリンピック・マーチ」
- ・全国高等学校野球選手権大会歌「栄冠は君に輝く」
- ・阪神タイガース応援歌「阪神タイガースの歌（六甲おろし）」
- ・早稲田大学応援歌「紺碧の空」
- ・慶應義塾大学応援歌「我ぞ覇者」
- ・映画モスラ劇中歌「モスラの歌」 など



〈金子さんの人となり〉

結婚後、学生時代から夢見ていたオペラ歌手を目指して帝国音楽学校で声楽を学んだ金子さん。戦後、裕而さん作曲の放送オペラ「朱金昭」などに出演。NHKスタジオで発声のために第一声を放った時には、オーケストラ団員から歓声が上がったとのエピソードから、その才能は抜き出していたと考えられます。

